

例会は6月2日「パレードへようこそ」

定例総会の報告について

2016 年度定例総会議案の要旨

4月27日(水)の午後7時から、**2016 年度の加古川シネマクラブ定例総会**を行いました。事務処理が間に合わなかったことに加え、郵送料のことも気懸りで、事前に議案を会員の皆様に送付していなかったことをお詫びいたします。承認された議案は、例会会場で配付などし手渡す予定です。

まず、2015年度の活動報告と決算報告についてです。例会を中心とした通常どおり活動が行われ、事業内容についてはあまり問題が無いのですが、最も大きな要因である会員減に加え、特別例会の入場料収入も期待ほどでもなかったため、当初計画より約15万円の減収が影響し、1回分の会場費が払えない赤字状態に陥りました。関係者の皆様には例年に増して物品と労力の提供を受けたほか、兵庫県映画センター様からは映画事業の協力に対する礼金を多くいただくなど、支出減と収入増によく努めた結果でした。

役員の選任については、概ね昨年度と同様ですが、各人の都合による運営委員の減員と監査委員の交代など若干の変更がありました。

次に、2016年度の活動計画と予算についてです。何といっても、会員数を増やすことを重要に考えます。なお、今年度は、特に目立った映画上映会は実施せず、通常の例会の活動を中心とし、次年度に全国映連の映画大学を加古川で開催する方向で準備を進め、気力と体力を蓄えることになりました。

また、昨年度から行っている明石シネマクラブとの交流事業である、それぞれの例会に両会の会員が参加できる例会相互参加事業は引続き続きます。

いつも言っていることですが、200名近くの会員数にならないと、会の活動が困難です。会員の皆さんには引き続きご協力お願いいたします。

例会のお知らせ

- 名称／第84回例会『パレードへようこそ』
- 日時／6月2日(木) ①PM 2:00-、②PM 4:20-、
③PM 6:40-
- 場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)
- 受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。
入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の

会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

■タイトル／パレードへようこそ

■監督／マシュー・ウォーチャス

■出演／ビル・ナイ、イメルダ・スタウトン、ドミニク・ウェスト、パディ・コンシダイン、ジョージ・マッケイ、ジョセフ・ギルガン、アンドリュー・スコット、ベン・シュネツァー、フェイ・マーセイ、フレディ・フォックス

■データ／2014年、イギリス、121分、ドラマ・コメディ

■ストーリー／イギリスで実際にあった炭鉱労働者たちのストライキと同性愛者たちの友情を、カルチャー・クラブ、ザ・スミス、ブロンスキ・ビートといった1980年代のヒットナンバーに乗せ、涙と笑いを交えて描く。1984年、イギリスで起こった炭鉱労働者によるストライキ。そのニュースを見たマークは仲間たちと募金活動を始めるが、彼らがゲイやレズビアンであることを理由に、その申し出は炭坑組合からことごとく無視されてしまう。唯一受け入れてくれたウェールズ奥地の炭坑町へ向かうマークたちは、炭鉱労働者たちと協力を模索。町の人たちと深い友情で結ばれたマークたちは募金活動をしようと思いつく。



全国映連総会 & 映連賞贈呈式参加報告

4月に全国映連総会と映連賞贈呈式のために東京に行ってきました。前日は恒例のジブリを訪ね宮崎駿監督にも挨拶できました。夜は高畑勲監督夫妻に夕食をご馳走してもらったあと、まだ残っていた井の頭公園の夜桜を楽しみました。いろんな映画の話で盛り上がりました。



総会本番では、札幌の学生の元気な報告が特筆もの

でした。年配の先輩たちと若い人がうまくかみ合っている状況を大変うらやましく思いました。

贈呈式では、**樹木希林**さんが他の受賞者挨拶にコメントしたりして、パワー全開で和やかで緊張感ある空間を作ってくれました。大女優なのにたった一人で「歯医者さんが早く終わったのもう着いちゃいました」とやってきてくれました。街中を一人で歩いて大丈夫ですかとお聞きすると、話しかけないでというオーラを全開にしているから大丈夫、とのことでした。**永瀬正敏**さんは黒ずくめの服でピシッと決めて、映画で見るより遙かに素敵でした。**三上智恵監督**は大阪でのトークがあったのに遅刻覚悟で来てくれたので、二次会を準備して待ちました。参加者のうち半分くらいが残ってくれました。三上さんは、どうしてもこの賞だけは自分で直接貰いたかったの、とのことでした。特別賞の『放射能を浴びたX年後』の**伊藤英朗監督**ともども2時間くらいの二次会を大いに盛り上げてくれました。(健)

三上智恵監督と交流会

5月8日、姫路で行われた兵庫県母親大会で、ドキュメンタリー映画監督「**標的の村**」(高江のオスプレイのヘリパット建設反対のたたかい)、「**戦場ぬ止み**」(現
前列向かって左から2番目が三谷監督
在も続く辺野古の海とゲート前の激しい衝突の記録)の**三上智恵監督**が講演され、宿泊は姫路とお聞きし、早速夕方、明石・姫路・加古川の3シネマクラブのメンバーと交流会をもちました。基地問題を20年間にわたって取材続けてきた三上監督。辺野古の地域の人々の思いや苦難の歴史、絶えることのない歌とユーモアがあるゲート前のお話。海外から見ると、もう日本は「戦争する国」…… 私たちの知らない事がたくさんありすぎて、もっとアンテナを高くして情報をキャッチし、行動することが大事だと思いました。バイタリティーあふれる監督のお話に圧倒されながらも次回作の予定もお聞きし、監督には、地酒を堪能していただきました。(強いぞ～)

ところで、三上監督の「戦場ぬ止み」は、明石シネマクラブの例会で無料で鑑賞しました。

加古川シネマクラブから8人ほど参加されていました。明石と加古川の交流が始まって2年目。明石からも来てくれています。どちらかの会員になると年間6000円で12本の映画が観れるので、とってもお得。

会員が減少気味ですので、このお得になる話を是非お友達に広げていただき、160人の会員に!あと15名ほど増えないかな～
(和)

前回例会の報告

3月16日の例会は、東日本大震災から数年後の日本の長島県(架空)を舞台に、再び起きた原発事故に翻弄される、どこにでもいる家族の物語を描いた『希望の国』を鑑賞しました。園子温監督が、福島原発事故の問題が色濃く続く2012年に公開させた大いなる話題作。「1回観るだけでなく、ときどき見なければいけない、と思わせる作品でした。」主演の夏八木勲の死期を前にした好演は見る者の心に響くもので、アンケートにも「夏八木さんにしびれた」などの意見がありました。

鑑賞者には好評でした。参加会員104人。その他に明石シネマクラブから4人の参加がありました。

明石シネマクラブ例会情報

■名称/『**エール!**』(原題 La famille Belier)

(2014年、フランス、105分)

■ストーリー/聴覚障害を持つ家族の中で生まれ育った健聴者の少女が、歌手になる夢を家族に理解してもらおうと奮闘する姿を描いたフランス製ヒューマンドラマ。

■監督/エリック・ラルティゴ

■出演/ルアンヌ・エメラ、カリン・ピアール、フランソワ・ダミアン、エリック・エルモスニーノ、ロクサーヌ・デュラン

■日時/6月16日(木) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所/アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容/加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付/会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 147人(3月16日現在)

